

経営比較分析表（令和2年度決算）

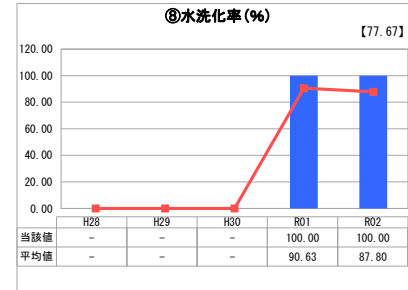
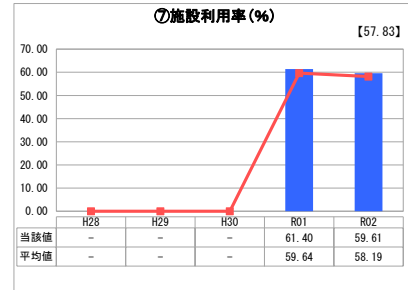
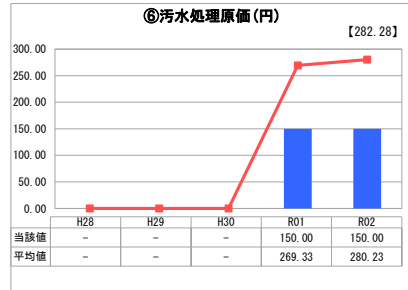
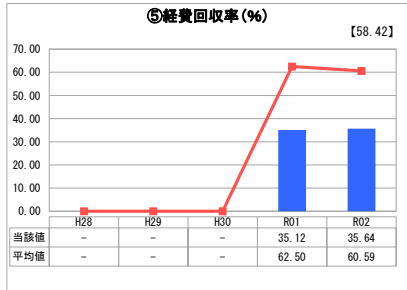
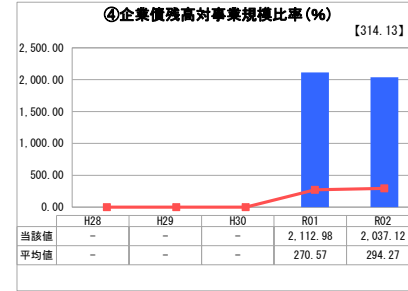
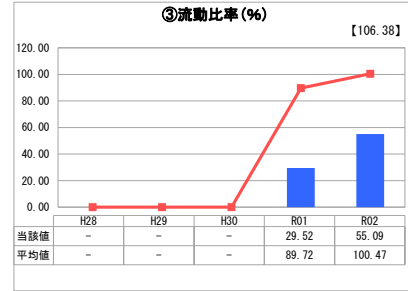
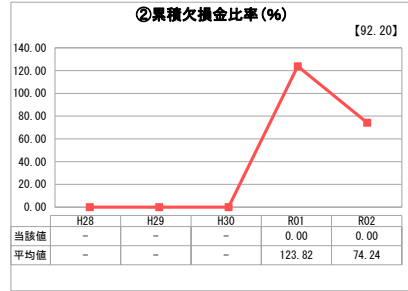
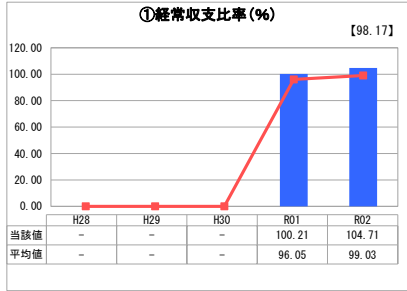
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	△5.45	4.91	100.00	1,320

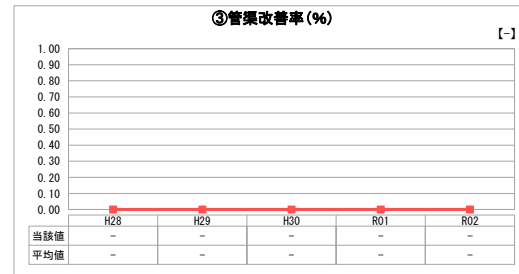
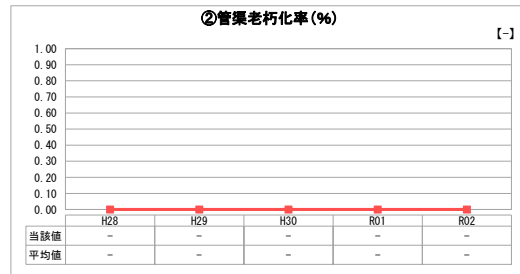
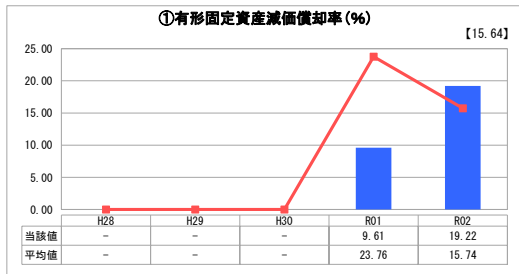
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,552	246.76	79.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
953	0.22	4,331.82

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
指標は100%を超えているが、町からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。
- ②流動比率
経営戦略に基づき、将来における下水道使用料の見直しに取組み、また維持管理費等経費の抑制に努めながら、単年度における収支バランスを図っていく。
- ③企業債残高対事業規模比率
本事業は、整備が完了しているため、新規企業債の発行はない。数値は年々減少していくと見込まれる。
- ④経費回収率
使用料体系が定額料金であるため、急激な使用料収入の減少は小さい反面、増加も見込めないため、一層の維持管理費の抑制に努める。
- ⑤汚水処理原価
類似団体平均値と比較し低い数値であり、汚水処理原価は、年間150円/m³で推移している。
- ⑥施設利用率
類似団体平均値と比較し高い数値となっており、このままの水準を維持しながら事業運営に努める。
- ⑦水洗化率
浄化槽事業のため、水洗化率は100%である。

2. 老朽化の状況について

- 本事業により整備した合併浄化槽も15年以上経過したものが増加し、年々フロア等の機器や本体蓋の老朽化による破損が顕著に発生しており、修繕費用が増加してきている。
定期点検による故障箇所の早期発見から、修繕費用の軽減を図り、浄化槽の長寿命化に努める。

全体総括

特定地域生活排水処理事業は、既に整備が完了しており、新規企業債の発行はないため、企業債残高は減少していくが、設備の老朽化により維持管理費が増加している。
このことから現在、定額制となっている使用料金を今後見直す必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。